



原チャレンジ!一歩前へ

下郷町立橋原小学校
学校だより No.34
令和2年12月 7日
文責:校長 酒井 健

◇「個別懇談」ありがとうございました

先週の2日から始まりました「個別懇談」も、本日で終了となりました。
保護者の皆様には、年末で何かとご多用の中、お時間を作っていただき、
本当にありがとうございました。

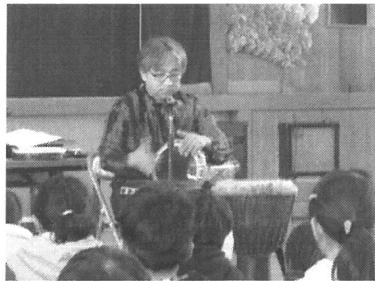


目の前のお子様の教育には、学校とご家庭とがチームとなって取り組んでいくことが重要だと考えております。この「個別懇談」を通して、学校での様子をお伝えできること、また、ご家庭でのお子様の様子をお聞かせいただいたことは、とても意義あるものであったと思います。皆様のご協力に感謝いたします。

今後におきましても、学校、学級へのご要望、ご質問等がございましたら、いつでも、気軽にお知らせください。子どもたちの健全な育成に向けて、ご一緒に取り組んでいきましょう。

◇「授業参観」お世話になります。

12月9日(水)は、「授業参観」が開催されます。今回は、研修委員会主催の教養講座「芸樹鑑賞教室」を参観していくだけ授業と併せての開催といたしました。



【昨年度の鑑賞教室から】

【当日の日程】

13:00	保護者受付（児童昇降口からお入りいただき体育館へ）	
13:10	児童入場完了	
13:15～14:15	教養講座「芸術鑑賞教室」（全校音楽） 体育館入り口にプログラムを準備しておきます。 打楽器奏者 伊勢友一さんによる鑑賞教室	
14:25～14:45	PTA全体会 鑑賞教室が終わりましたら、そのまま体育館でお待ちください。	
14:55～15:20	PTA専門委員会 （研修委員会→会議室 環境安全委員会→ミーティングルーム2 厚生広報委員会→音楽室） 専門委員以外の皆様は、お子様の教室でお待ちください。	
15:30～16:00	学級懇談会	
16:00～16:30	PTA本部役員選出 ご協力何とぞよろしくお願ひいたします。	

校長のひとりごと

今、知識・情報・技術の加速度的な変化のもと、情報化やグローバル化などの進展などにより、子どもたちを取り巻く社会は大きく変化しています。教育界においても同様に大きな変革の時期を迎えています。今の小学校6年生が高校入試の頃は、高校の統廃合が進んでいます。また、大学入試改革により、これまでとは違う入試制度となっていきます。教科の知識だけを測るのではなく、身に付けた知識を使いこなす能力を含めた総合的・多面的な能力を測る方向へと舵を切れます。つまり、「『覚える』から『考えて、活かす』へ」がキーワードになります。

たとえば「総合型」では、社会の出来事に関する資料を読み解きながら（社会）、それを図表や数式に表し（数学）、自分の意見を述べる（国語）、といった教科・科目を横断した問い合わせすることになります。

そこで大切にしていきたいのは、小学校時代からの「学び方」だと考えます。当然、知識として覚えることも大切ですが、それだけで終わるのではなく、そこから一歩踏み出して、「なぜなんだろう・・・」「別な考え方は・・・」「これは何に活かすことができそうか・・・」と自分で考えることができるようになるととも、とても必要だと考えます。日々の授業の中で、家庭学習の中で、自分は・・・、自分の考えは・・・という主体的な子どもたちに育つことができるよう、これからも、子どもたちの未来を見据えた教育に努めてまいります。